

- 問1 1929年にアメリカで始まり、世界中の経済を混乱させた出来事を何という？
- 問2 1945年8月、アメリカ軍が原子爆弾を投下した日本の二つの都市とはどこ？
- 問3 ドイツがポーランドへ侵攻した際、即座にドイツに対して宣戦布告を行ったヨーロッパの主要国を二つ挙げよ（そのうち一つを答えること）。
- 問4 1941年、日本が資源確保を目的として進駐した地域のうち、国際的な対立を深めるきっかけとなった場所はどこ？
- 問5 太平洋戦争期に、学生や女性が強制的に労働に従事させられた場所を何という？
- 問6 五・四運動が学生を中心に始まり、当時の中国の首都であった都市を何という？
- 問7 1931年、関東軍が自ら南満州鉄道の線路を爆破して、武力行使の口実とした事件を何という？
- 問8 第一次世界大戦後に開かれ、日本の中国進出を国際的に認める動きに対して中国で反発が起きた国際会議を何という？
- 問9 日中戦争から第二次世界大戦にかけて、日本が国家総動員のために経済を制限した政策を何という？
- 問10 日本軍が進駐したことで、アメリカの経済制裁を招いた当時の地域を何という？
- 問11 ドイツがポーランドへ軍事侵攻を開始し、第二次世界大戦の引き金となったのは西暦何年？
- 問12 1922年に成立した、当時の世界初の社会主義国家を何という？
- 問13 真珠湾攻撃以降の戦争において、日本が敗北し、戦況が劣勢に転じる転換点となった戦いを何という？
- 問14 1940年、日本国内の既存の政党を解散させて結成された、戦争遂行のための組織を何という？
- 問15 昭和初期、日本の主要な輸出品で、世界恐慌の影響を受けて価格が暴落したものを何といますか？
- 問16 日本によるフランス領インドシナ南部への進駐に対し、アメリカが全面禁止したことで日米関係が悪化したものは何？
- 問17 1932年の五・一五事件で襲撃され、死亡したことで政党政治の終わりを象徴することとなった首相は誰？
- 問18 第二次世界大戦において、日本やドイツなどの枢軸国と対立した勢力を何という？
- 問19 1929年の世界恐慌の引き金となった、アメリカにある株取引の中心地を何という？
- 問20 1945年、連合国が日本に対して無条件降伏を求めた宣言を何という？
- 問21 ロンドン海軍軍縮条約が調印されたのは何年か？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>世界恐慌</b>	この暴落をきっかけに銀行が倒産し、企業が生産を停止したことで多くの失業者が発生しました。この恐慌は国際的な貿易網を通じて世界中に広がり、ドイツやイギリス、日本など多くの国で深刻な不況が起こりました。各国は自国の経済を守るためにブロック経済という対策をとるようになりました。
問2	<b>答え</b> <b>広島</b>	1945年8月6日に広島、8月9日に長崎へ原子爆弾が投下されました。この兵器は、それまでの通常兵器とは比較にならない破壊力と放射能被害をもたらし、一瞬にして多くの尊い命が失われ、市街地が壊滅的な打撃を受けました。
問3	<b>答え</b> <b>イギリス</b>	しかし、ドイツがポーランドへの侵攻を断行したことで、両国はドイツの武力拡大をこれ以上許さないと判断し、1939年9月に宣戦布告しました。これにより第二次世界大戦の戦端が開かれました。
問4	<b>答え</b> <b>フランス領インドシナ南部</b>	1941年に日本軍がベトナムを含むフランス領インドシナ南部へ進駐しました。この行動は、欧米諸国から侵略的な動きとみなされました。
問5	<b>答え</b> <b>軍需工場</b>	軍需工場では、本来兵器生産に関わらなかった学徒（学生）や女性が動員され、厳しい条件下で生産に従事しました。金属供出や食糧不足に苦しみながら、軍の要請に応える形で労働力が投入されました。
問6	<b>答え</b> <b>北京</b>	1919年5月4日、北京の学生たちが中心となり、日本の二十一か条の要求撤回や、売国的な政府に反対するデモを行いました。これが全国的な反帝国主義運動へと拡大し、中国の現代化を促す画期的な出来事となりました。
問7	<b>答え</b> <b>柳条湖事件</b>	1931年9月18日、中国の奉天近郊の柳条湖で、南満州鉄道の線路が爆破されました。関東軍はこれを中国軍の仕業として攻撃を開始しました。しかし、実際には関東軍による自作自演の謀略でした。
問8	<b>答え</b> <b>パリ講和会議</b>	1919年に開かれたこの会議には、日本を含む連合国側が参加しました。会議ではドイツに対する賠償問題などが協議されましたが、中国にとって不利な取り決めが維持されたことが、中国国内での激しい民族運動である「五・四運動」を引き起こすきっかけとなりました。
問9	<b>答え</b> <b>太平洋戦争</b>	1941年12月の真珠湾攻撃によって太平洋戦争が勃発しました。この戦争はアジア・太平洋の広い範囲を戦場とし、莫大な人的・物的被害を出しました。
問10	<b>答え</b> <b>フランス領インドシナ</b>	日本は、当時のフランスの植民地であったインドシナ北部へ進駐しました。これを中国への侵略行為とみなしたアメリカは、日本の軍事行動を制止するために石油の輸出を停止する経済制裁を行いました。
問11	<b>答え</b> <b>1939年</b>	1939年9月、ドイツ軍が突如ポーランドへの侵攻を開始しました。これに対し、ポーランドと同盟を結んでいたイギリスとフランスがドイツに宣戦布告し、ヨーロッパ全体を巻き込む大戦へと発展しました。
問12	<b>答え</b> <b>ソ連</b>	ソ連は資本主義とは異なる、生産手段を国が所有する社会主義体制をとりました。特に、国家が生産量や資源配分を決定する「計画経済」を導入しました。これにより、世界恐慌の影響をほとんど受けずに、急速な工業化と軍事力の強化を実現しました。
問13	<b>答え</b> <b>ミッドウェー海戦</b>	1942年6月、ミッドウェー島周辺で日本海軍とアメリカ海軍が激突しました。日本は主力空母4隻を失う壊滅的な打撃を受け、それまでの攻勢から守勢へと追い込まれることになりました。
問14	<b>答え</b> <b>大政翼賛会</b>	1940年、近衛文麿首相の下で提唱された「新体制運動」の一環として、すべての政党が解散し、大政翼賛会が結成されました。これは政府と国民の間のパイプ役となり、軍部や官僚、産業界などが一体となって戦争協力を推進する組織でした。
問15	<b>答え</b> <b>生糸</b>	1929年の世界恐慌が発生すると、最大の貿易相手国であったアメリカの景気が急速に悪化しました。その結果、贅沢品であった絹製品の売れ行きが止まり、日本の主要輸出品である生糸の価格が記録的な暴落を見せました。
問16	<b>答え</b> <b>石油輸出</b>	アメリカは対日制裁として、日本への石油輸出を全面的に禁止しました。日本は経済的に追い詰められ、戦争の継続が困難な状況に置かれました。
問17	<b>答え</b> <b>犬養毅</b>	犬養毅は、憲政の常道を歩もうと努めた最後の政党内閣の首相です。1932年の五・一五事件において、海軍の青年将校らによって官邸で襲撃され、死亡しました。彼の死は、それまでの政党内閣による運営が不可能になったことを意味していました。
問18	<b>答え</b> <b>連合国</b>	当初はイギリスやフランスが中心でしたが、後にソ連やアメリカなども加わりました。これらの国々は「連合国」と総称され、日本やドイツ、イタリアといった枢軸国との世界的な規模の戦いを繰り広げました。
問19	<b>答え</b> <b>ニューヨーク株式市場</b>	実体経済以上に株価が吊り上げられる異常な状態が続いていましたが、1929年10月24日（暗黒の木曜日）を境に株価が暴落しました。これにより、多くの投資家が資産を失い、資金を回収できなくなった銀行が連鎖的に倒産しました。
問20	<b>答え</b> <b>ポツダム宣言</b>	1945年7月、米・英・中の3カ国（後にソ連も参加）の名で発表されました。日本に対して民主主義の復活や軍隊の武装解除、そして「無条件降伏」を要求する内容でした。当初、日本政府はこれを黙殺する姿勢をとりました。
問21	<b>答え</b> <b>1930</b>	1930年、日本、アメリカ、イギリスなどの間でロンドン海軍軍縮条約が結ばれました。これにより戦艦以外の補助艦の保有量が制限されました。